



60代の実像②：資産運用は何のために

「60代6000人の声」アンケート調査2025より

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

2025年3月13日

3月23日改定

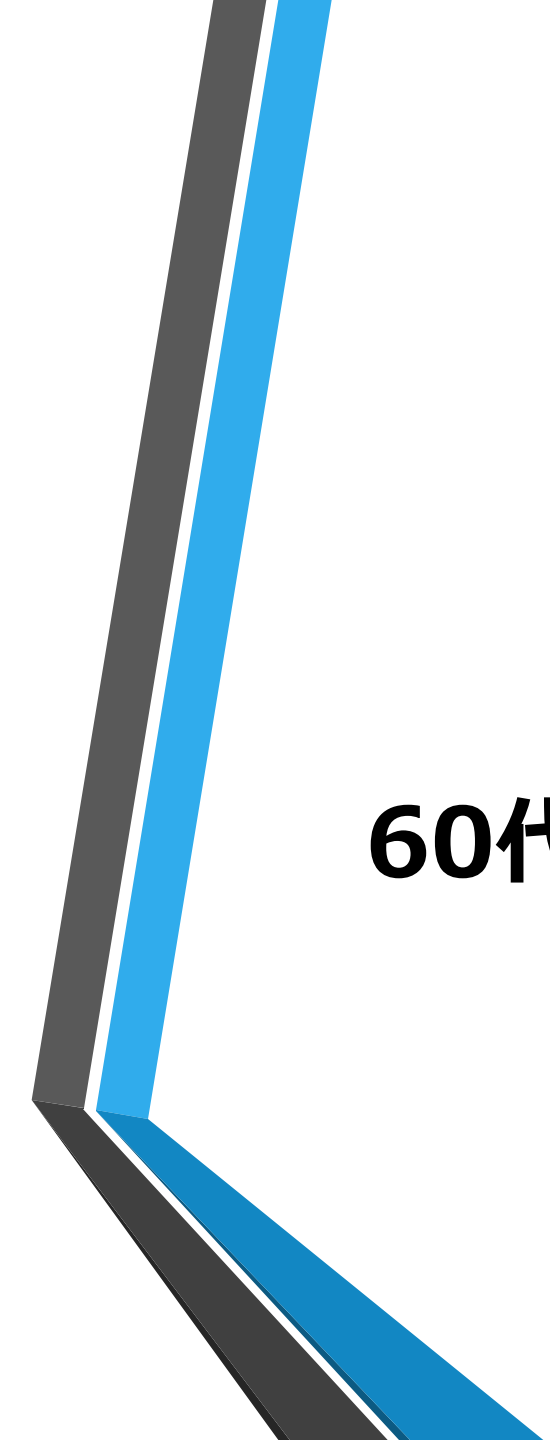
60代6000人の声：データ分析結果の要旨

□ 資産運用の実態

- 60代都市生活者の4割が資産運用を行っている。会社員(現役、元)、夫婦のみ世帯、高年収、高資産層で投資家が多い。投資家の3分の2が新NISAを利用。
- 「今の10万円＞1年後の11万円」の比率は60歳で46.2%→69歳で63.7%と高まる。加齢とともに近視眼的傾向が強まる。
- 資産寿命の延命策の第1位は勤労継続、第2は僅差で節約、第3位に資産運用。ただ、資産運用を行っていてもそれが資産寿命の延命策としているのは3分の1に留まる。
- 旧NISAを使っていたのに新NISAはやらないと決めた人は全体の9.5%。特に生活に安定感がある人ほどやらないと決めているような傾向がある。

□ 資産の取り崩しの実態

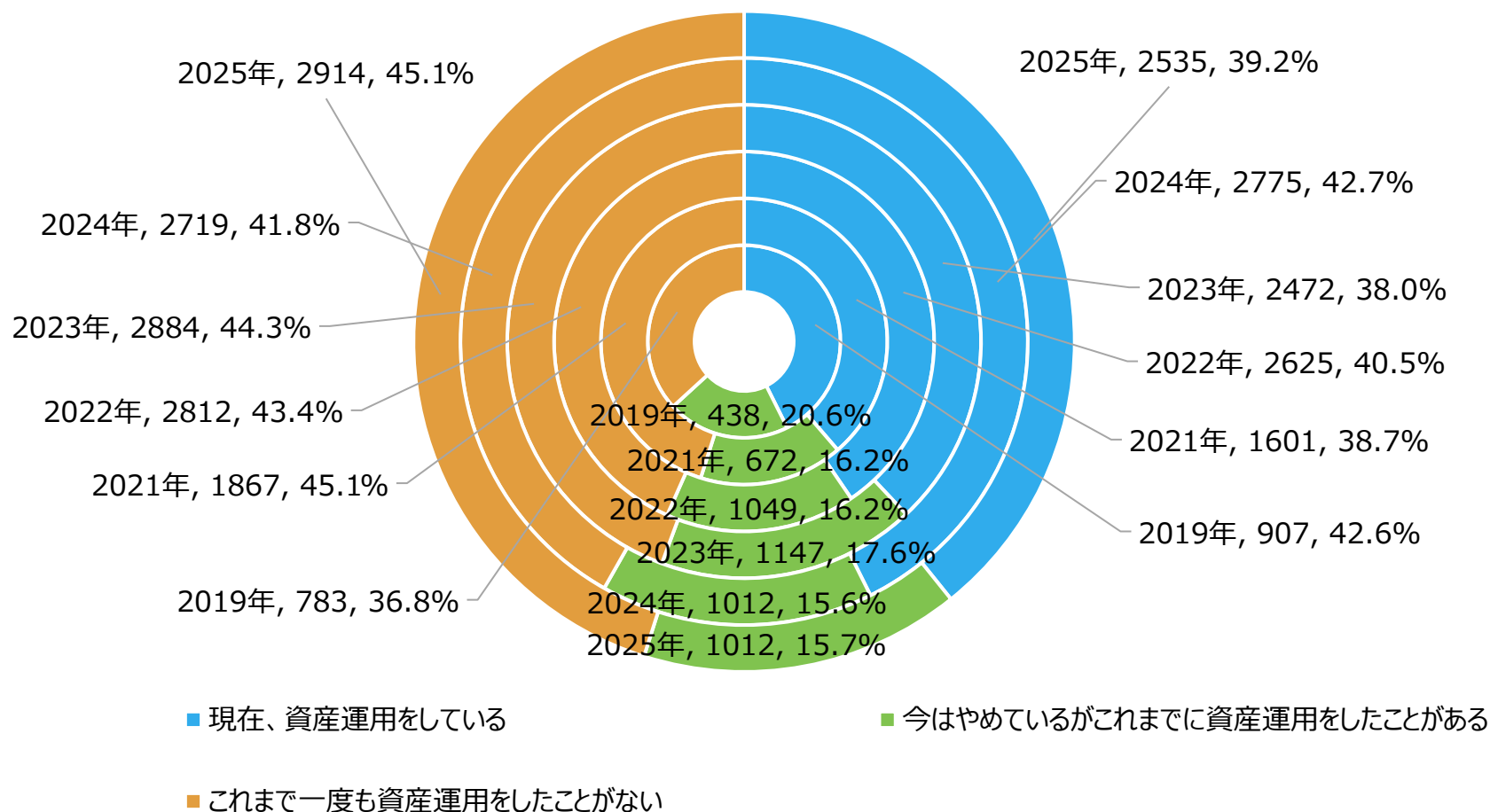
- 60代、金融資産保有者の4割が取り崩しを実施、4割が計画中。資産が少ない人、年収が少ない人ほど取り崩している。取り崩していない人の6割は、取り崩さなくても生活できるとしている。
- 8割が年間引出額100万円以下。資産2000万円前後で引出率は4%前後。ただ、計画的な取り崩しは2割にとどまる。
- 年金受給者の方が取り崩しをしている(受給までの繋ぎ資金として取り崩すとはいえない)。しかし取り崩しの主要因は、年金の収入では生活費に不足が生じるため。



60代6000人の声 2025：資産運用の実態

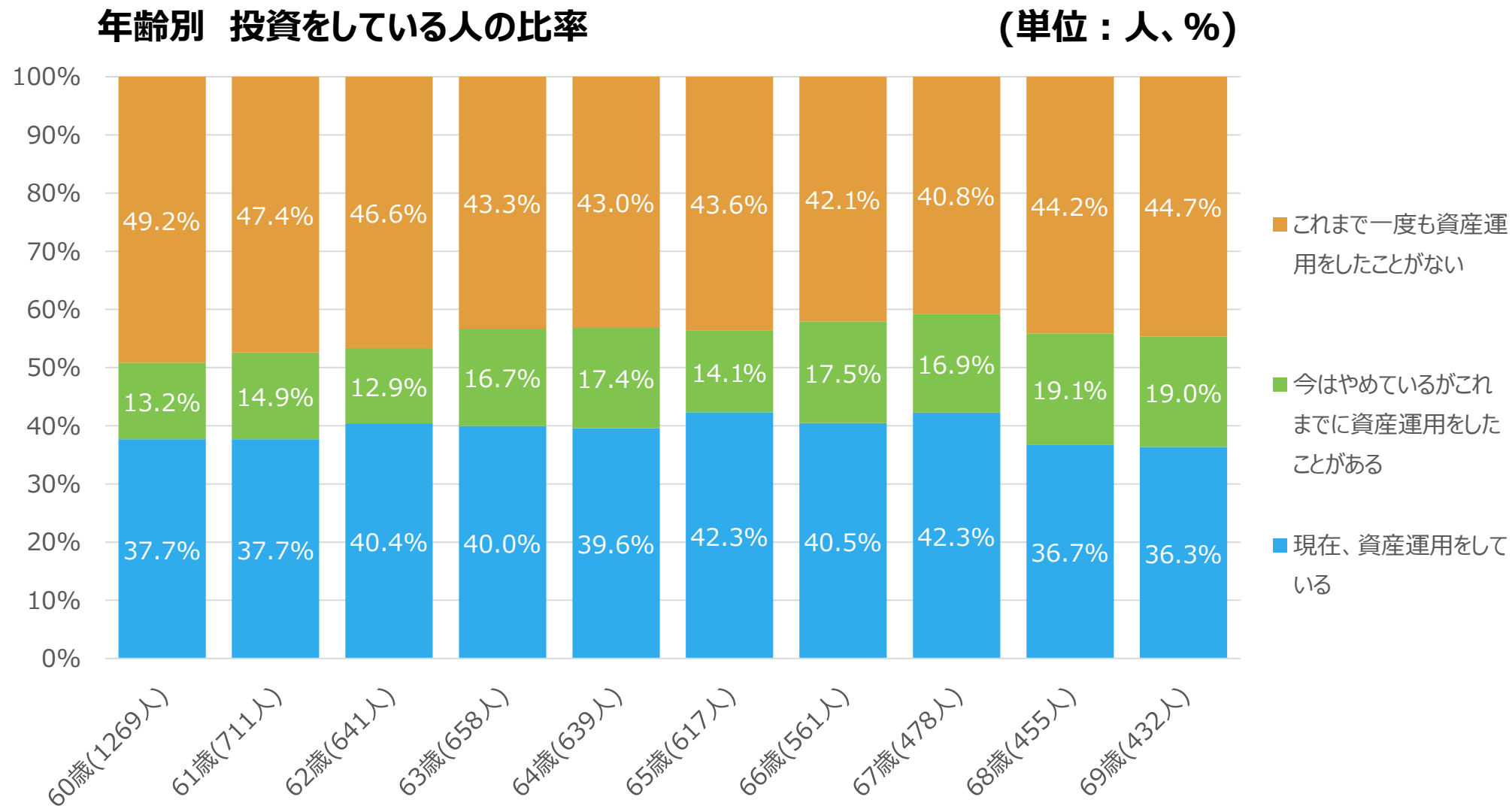
60代都市生活者の4割が投資

投資をしている人の比率 (単位：人、%)



(注)回答者総数は、2019年＝2128人、2021年＝4140人、2022年＝6486人、2023年＝6503人、2024年＝6506人、2025年＝6461人
(出所) 合同会社フィンウェル研究所、地方都市移住調査(2019年、2021年)、「60代6000人の声」(2022年、2023年、2024年、2025年)

投資家比率は年齢に関係なし

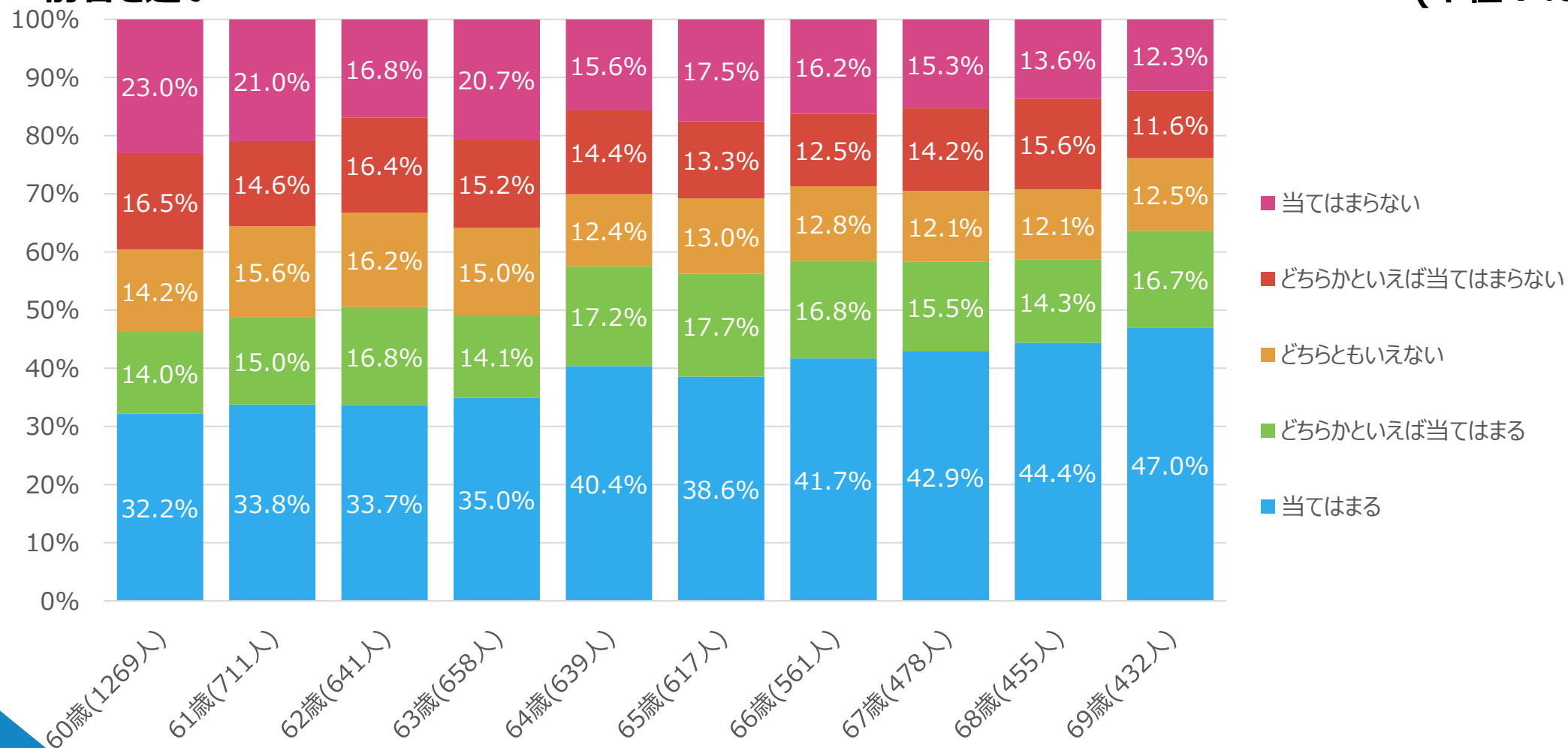


(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

@2025 FinWell Research LLC All rights reserved

加齢とともに近視眼的に

お金を必ずもらえる前提で、今10万円をもらう、1年後に11万円をもらうという2つの選択があれば、
前者を選ぶ (単位：%)



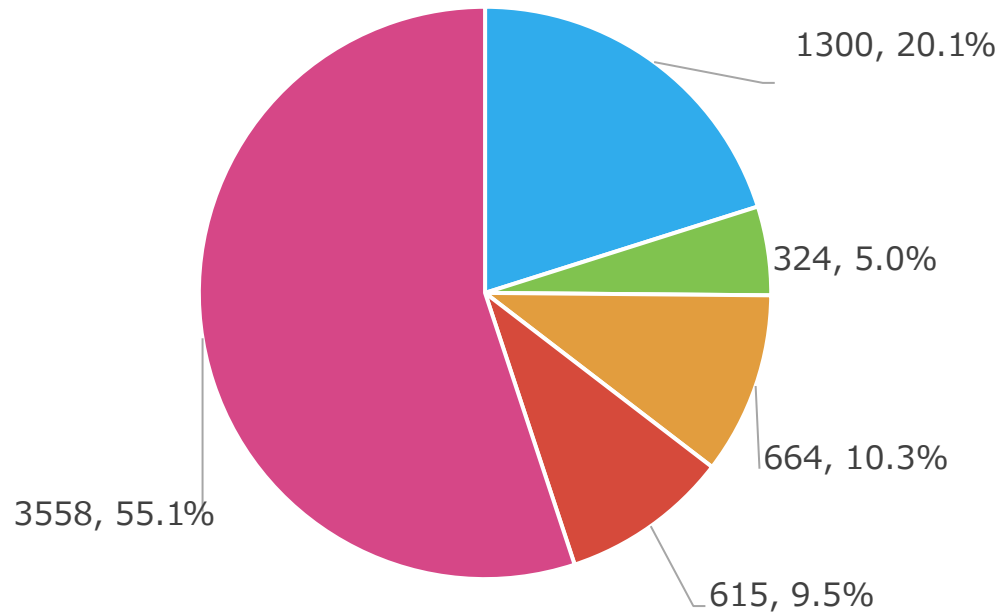
(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

@2025 FinWell Research LLC All rights reserved

投資家の6割が新NISAを活用

新NISA口座の活用状況

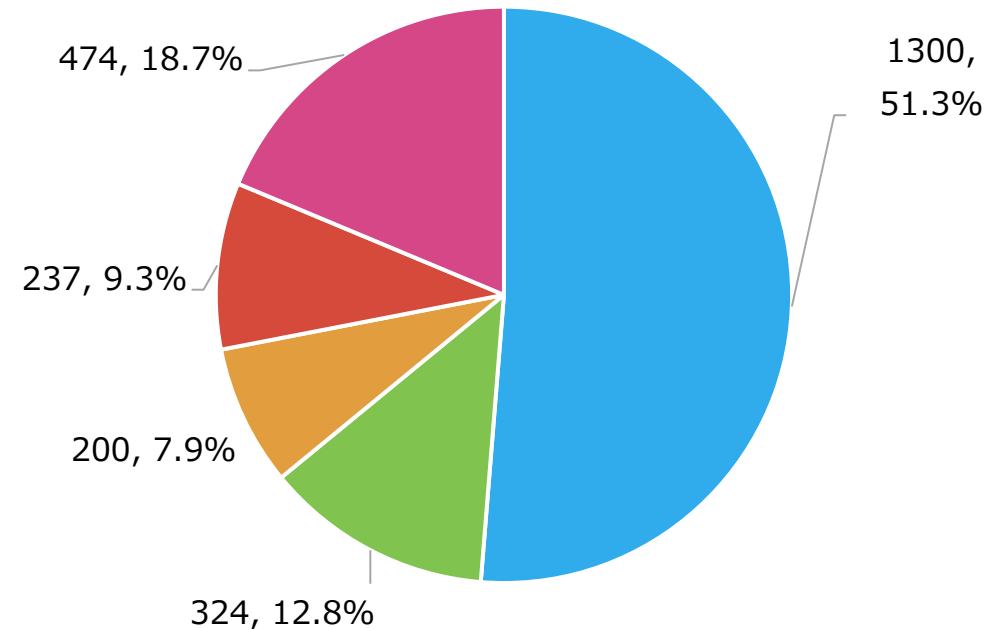
回答者6461人



- 従来からNISAを活用しており、新NISAになっても使っている
- 新NISAのスタートで活用するようになった
- 今後、新NISAを開設するつもり
- (従来のNISAは使っていたが) 新NISAになってから使っていない
- (従来のNISAは使っていなかったし) 新NISAになっても活用するつもりはない

(単位：人、%)

投資をしている2535人

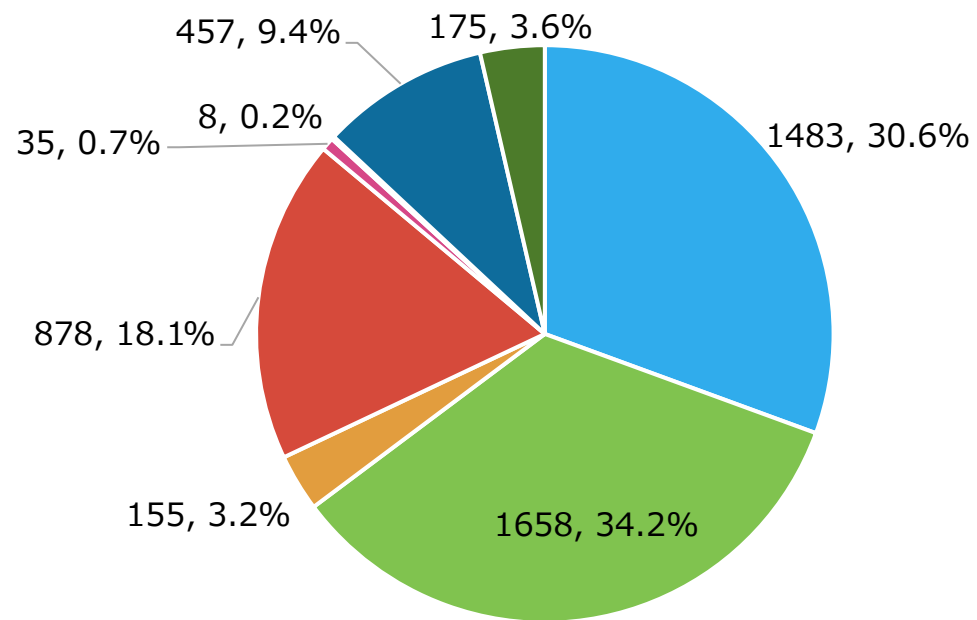


- 従来からNISAを活用しており、新NISAになっても使っている
- 新NISAのスタートで活用するようになった
- 今後、新NISAを開設するつもり
- (従来のNISAは使っていたが) 新NISAになってから使っていない
- (従来のNISAは使っていなかったし) 新NISAになっても活用するつもりはない

(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

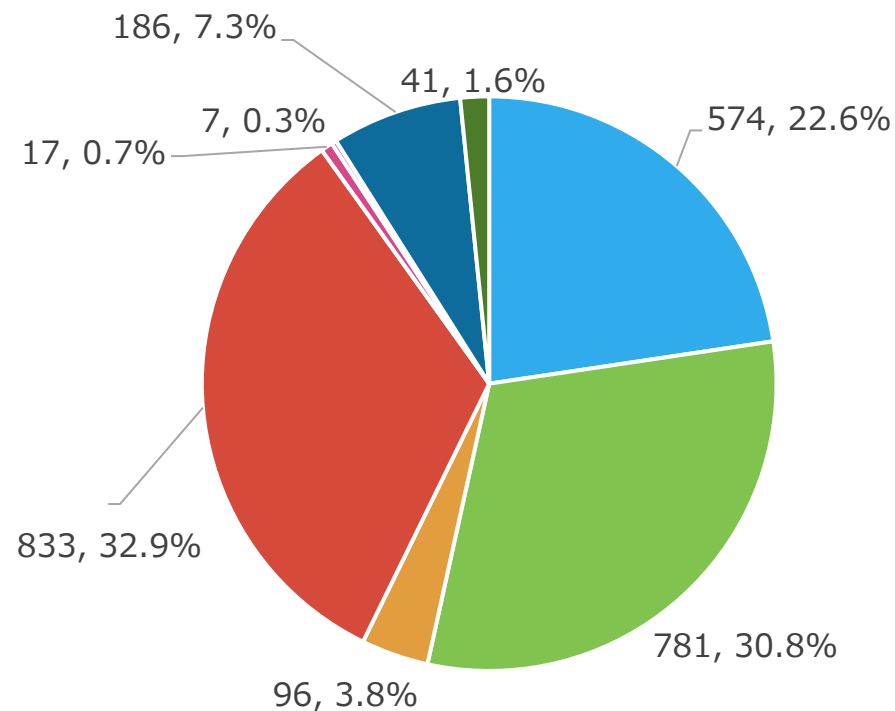
資産運用は資産延命策か？

全体の資産寿命延命策（単位：人、%）



- 生活費を切り詰めて支出を抑える
- 少しでも金利の高い金融機関に預け替える
- 遺産などを当てにする
- 金融資産の延命策は特に考えていない

資産運用者2535人の資産寿命延命策（単位：人、%）



- 少しでも長く働いて収入を得る
- 持っている資産を株・債券・投資信託などで運用することを考える
- その他
- この中にはない

(注)回答者総数は、左が資産を保有していると回答した4849人、そのうち資産運用をしていると回答した右側が2535人（出所）「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

60代資産運用者の特徴

60代の資産運用者、新NISA口座開設者、投資していない人の特徴

(単位：人、%)

		回答者数	現在、資産運用 をしている (A)	新NISAを 開設している (B)	資産運用してい る人の新NISA 利用率
全体		6461	39.2%	25.1%	64.1%
性別	男性	4915	41.8%	26.6%	63.6%
	女性	1546	31.0%	20.4%	66.0%
年齢別	60-64歳	3918	38.8%	25.2%	65.0%
	65-69歳	2543	39.9%	25.0%	62.7%
職業	現役、会社員等	2360	43.5%	28.2%	64.8%
	現役、自営業者等	642	38.2%	22.7%	59.6%
	無職、元会社員等	1228	44.5%	29.3%	65.9%
	無職、元自営業等	1099	34.8%	22.3%	64.0%
	専業主婦／主夫	1029	29.2%	18.3%	62.7%
家族構成	夫婦のみ	2657	42.0%	27.4%	65.1%
	単身	1450	35.0%	21.2%	60.7%
世帯年収	0-400万円	3029	28.4%	17.7%	62.3%
	400万円超	3432	48.8%	31.7%	65.0%
世帯保有資産	1000万円以下	3592	19.0%	11.5%	60.7%
	1000万円超	2869	64.6%	42.2%	65.3%

(注)赤字は全体よりも構成比が高いセグメント。「専業主婦/主夫」はパート・アルバイト等を含む。「世帯年収、世帯保有資産の価額帯」は敢えて2階級に分類して計算。「家族構成」は夫婦のみ、単身のみを収載。これ以外にも子どもと同居、親と同居があるもののここでは省略。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

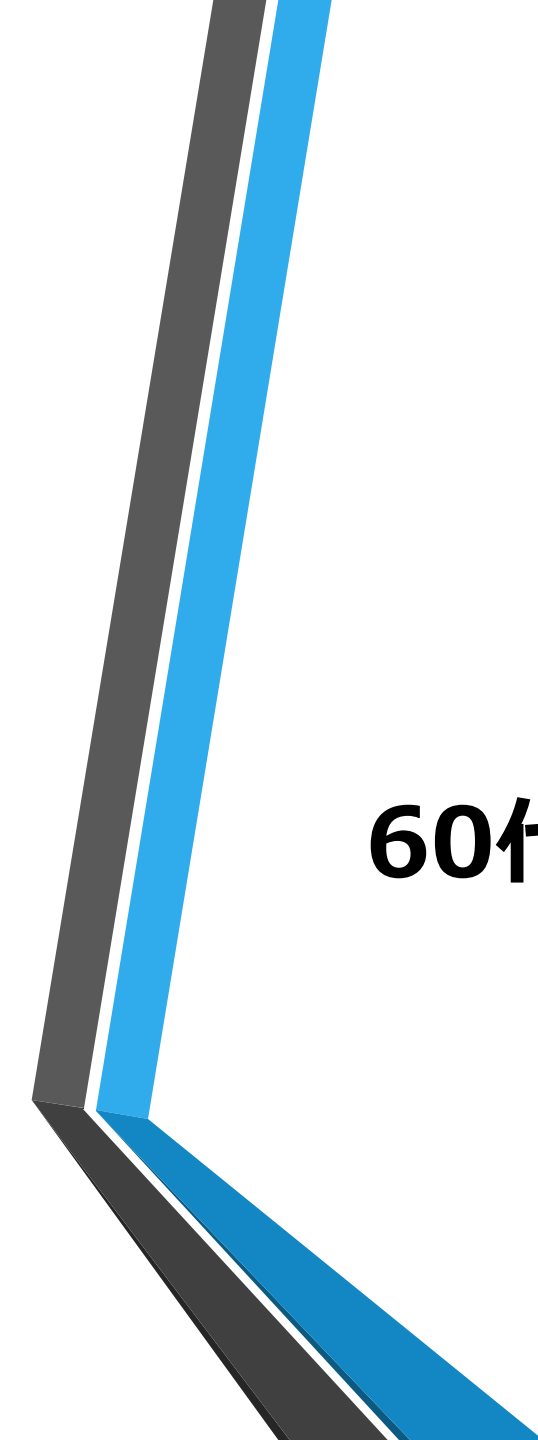
新NISAをやらない人の特徴

旧NISAを活用していたのに新NISAはやらないとした人の特徴

(単位：人、%)

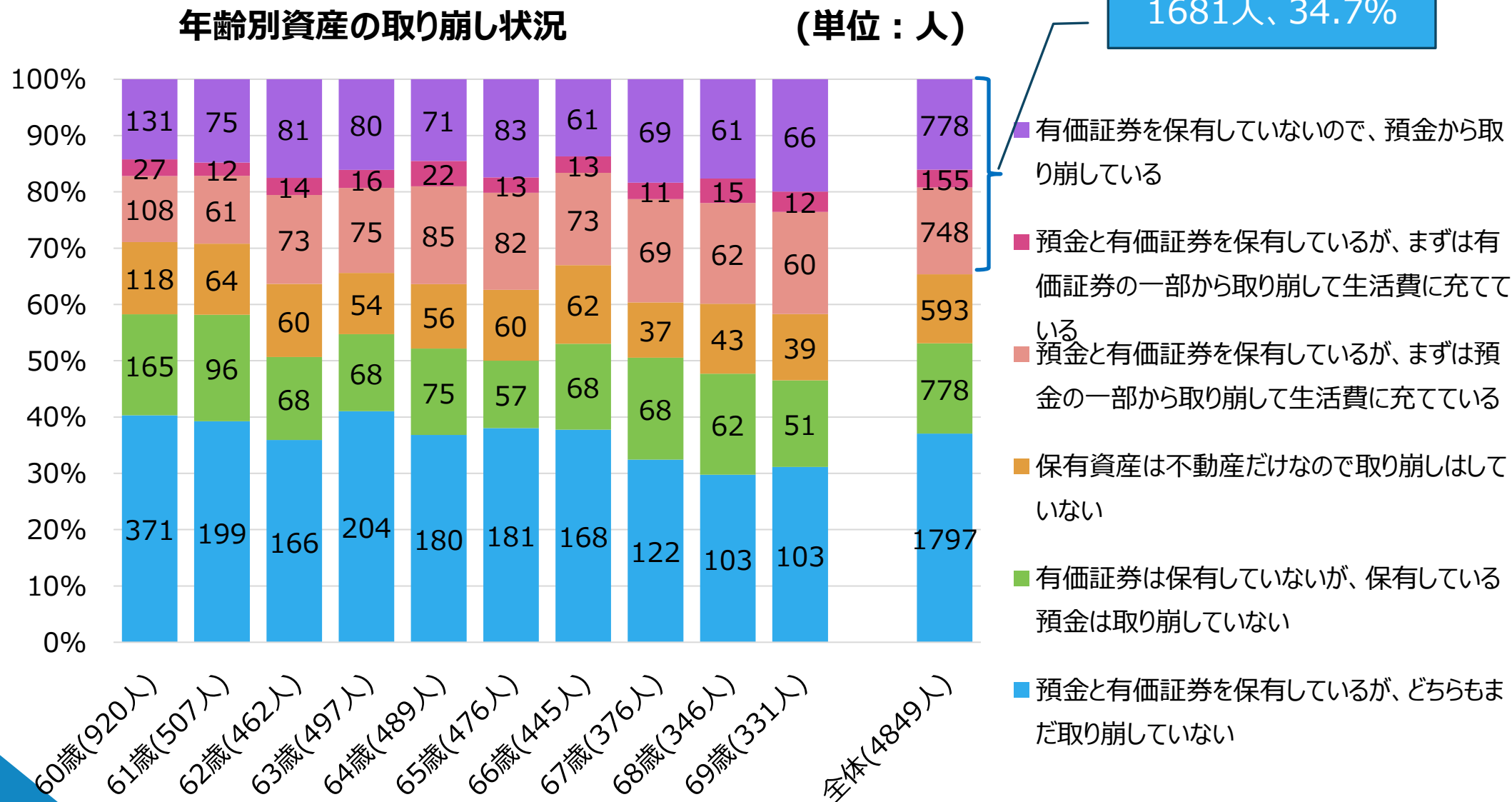
	回答者数	従来のNISAは使っていたが、新NISAになってから使っていない	
		人数	構成比
全 体	6461	615	9.5%
男性	4915	484	9.8%
持ち家居住	4794	507	10.6%
65-69歳	2543	262	10.3%
年収801万円以上	1199	122	10.2%
資産1000万円以上	2869	285	9.9%
公的年金受給	2871	296	10.3%
近視眼的でない人	2124	211	9.9%
資産水準の満足度(満足+どちらかといえば満足)	1757	172	9.8%
保有資産で生活をカバーできる(十分+何とか)	3301	336	10.2%
70代生活イメージ(変わらない+良くなっている)	3050	323	10.6%
資産の使い道優先度を80歳以降の生活に(優先度1点と2点)	1408	150	10.7%

(注) 近視眼的でない人とは、「1年後の11万円より今の10万円を選ぶとする意見に「当てはまらない」または「どちらかといえば当てはまらない」と回答した人。資産水準の満足度は、5段階評価で「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人。70代生活イメージは、70代の生活イメージが「今と変わらない」、「今より良くなっている」と回答した人、資産の使い道優先度は、「70代の生活を優先する人は5点、80代以降の生活を優先する人は1点として、1点と2点をつけた人。全体の平均比率9.5%を上回っているセグメントを抽出して収載。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年



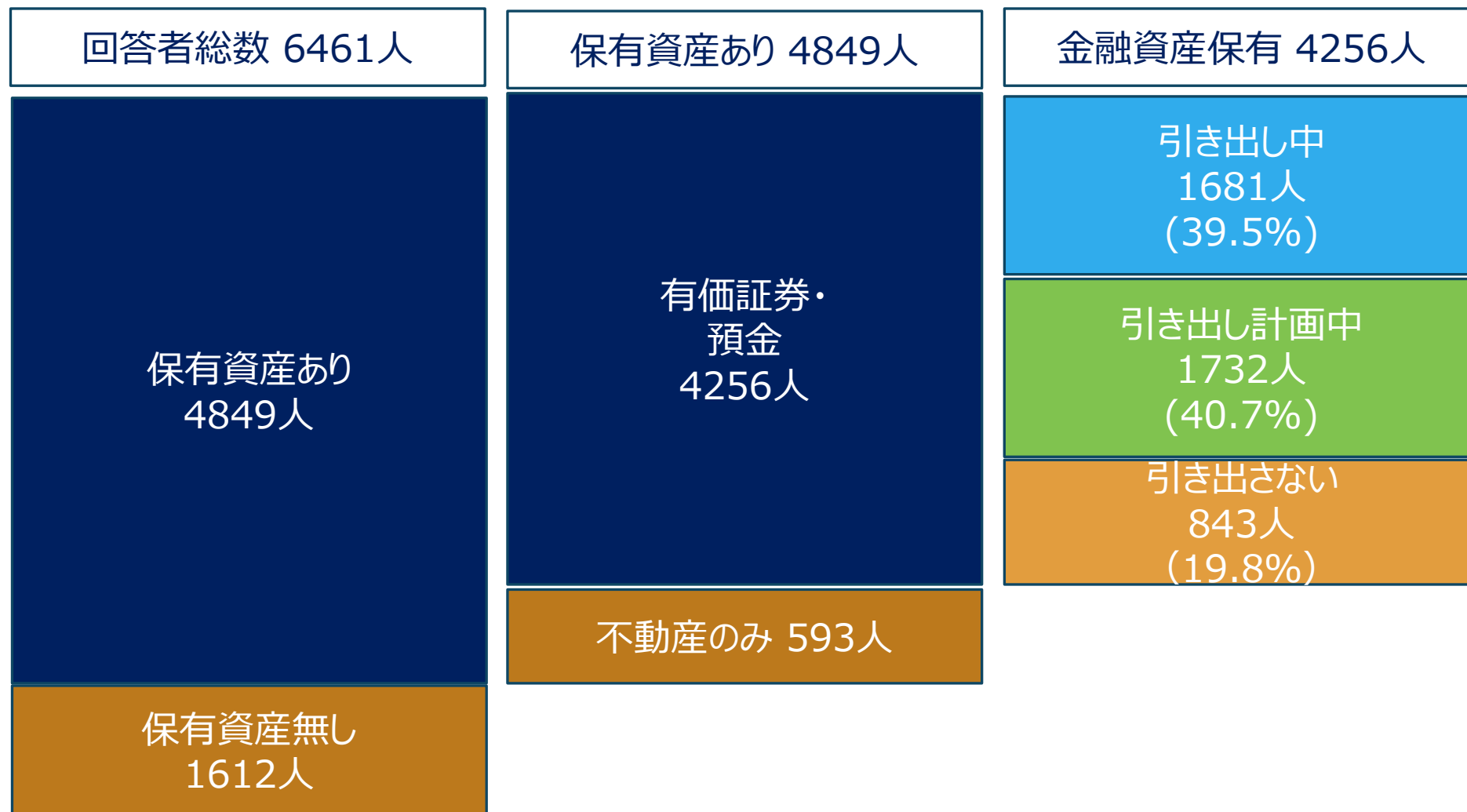
60代6000人の声 2025：資産の取り崩しの実態

60代の3分の1が資産を取り崩す



(注)回答者総数は資産を保有していると回答した4849人 (出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

金融資産保有者の8割が実施へ

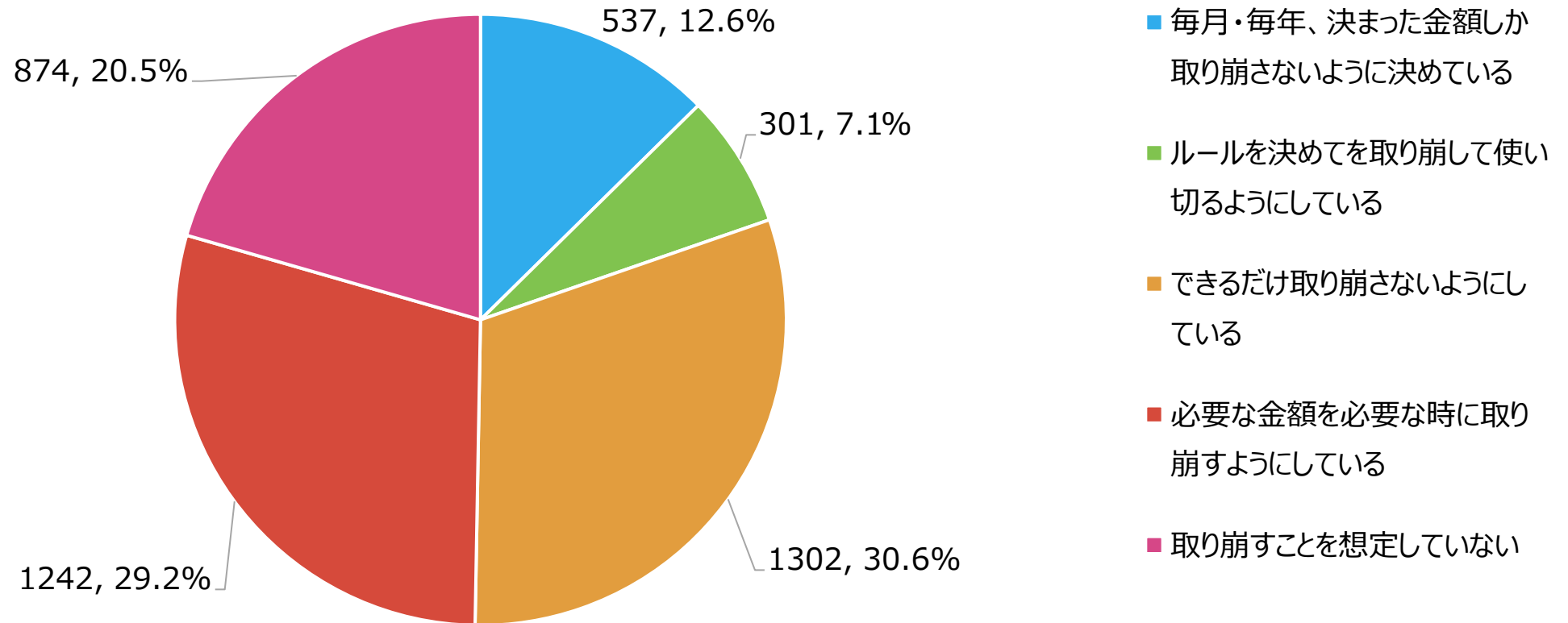


(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

計画的な取り崩しは2割

金融資産の取り崩しのルール

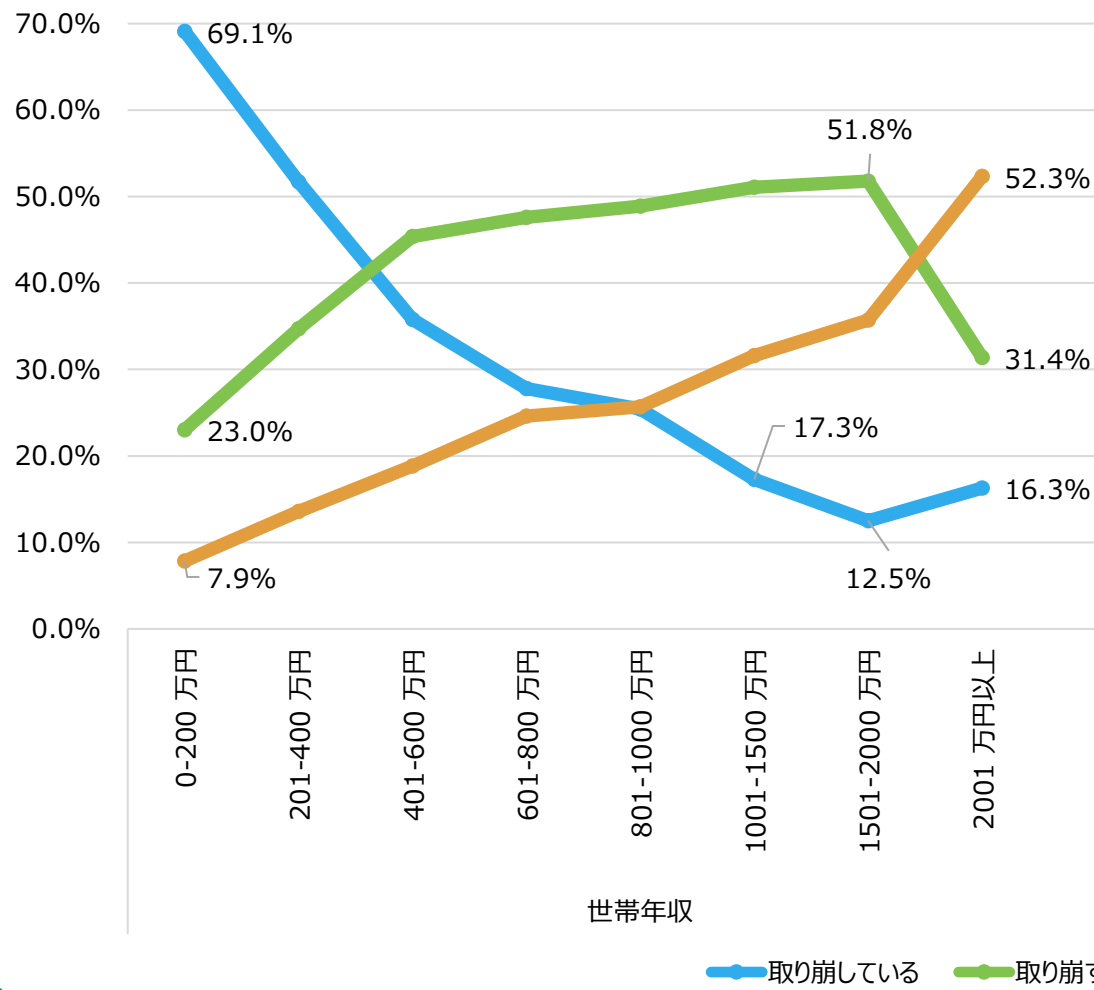
(単位：人、%)



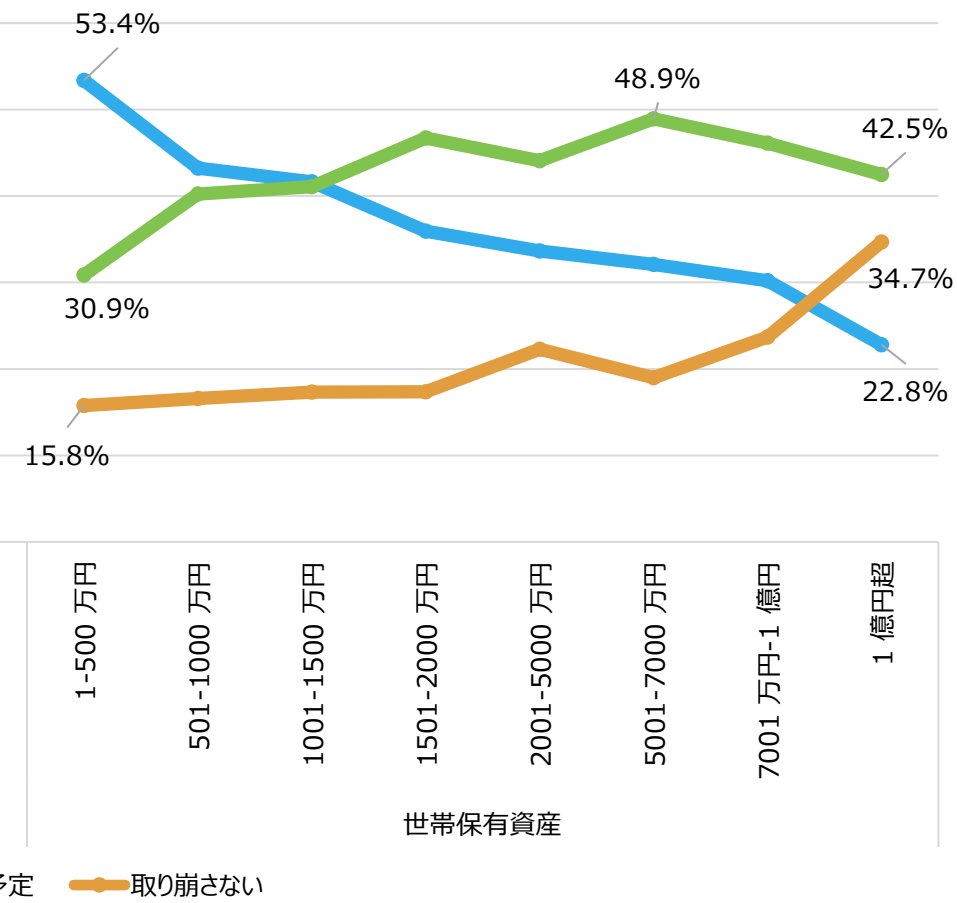
(注)有価証券・預金を保有する(不動産のみを除く)回答者4256人が対象。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

年収が少ないので資産を引き出す

年収帯別 資産の引き出し状況(単位：%)



資産帯別 資産の引き出し状況(単位：%)

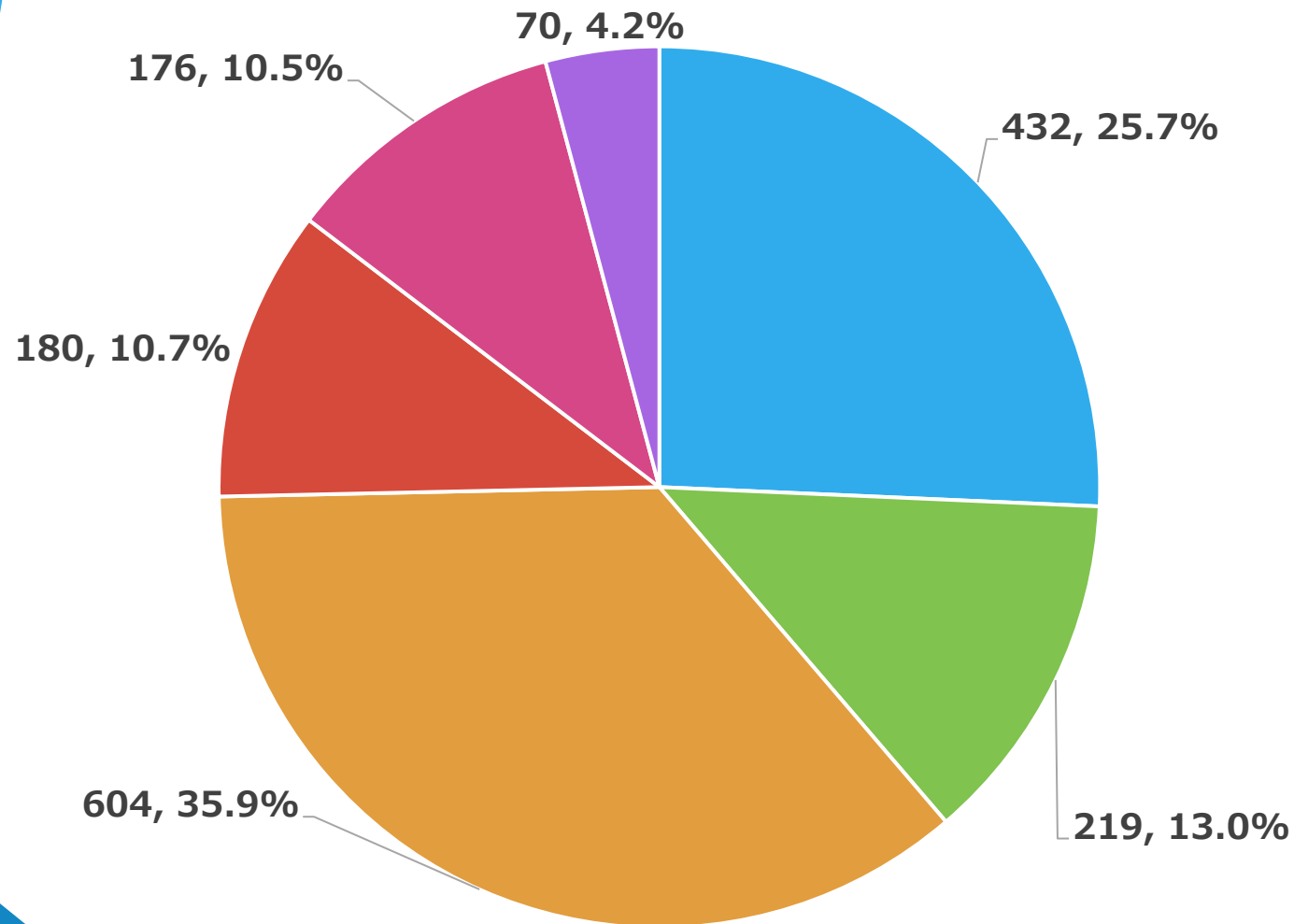


(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

年金が不足で資産を引き出す

資産の取り崩しをしている理由

(単位：人、%)



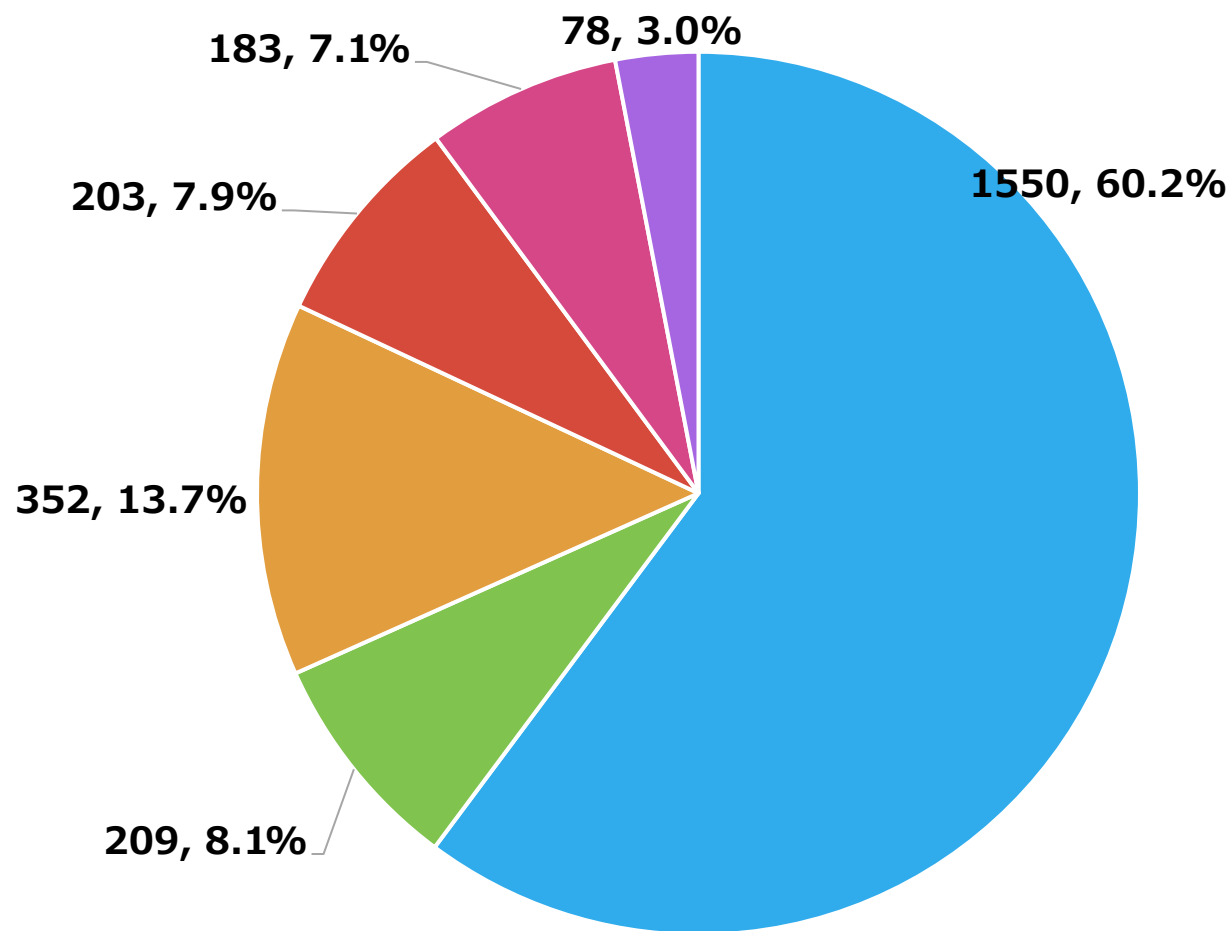
- 勤労収入では生活に足りないから年金収入まで資産を取り崩す
- 勤労収入と年金収入では生活に足りないから資産を取り崩す
- 年金収入だけでは生活するのに足りないから資産を取り崩す
- 勤労収入と年金収入で何とかなるが、生活を楽しむために取り崩す
- 特に理由はないが、取り崩せるだけ取り崩すつもり
- ある程度引き出しても資産は減らないので使えるだけ取り崩す予定

(注) 金融資産を保有していて資産を取り崩していると回答した1681人が対象 (出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

取り崩さなくても生活できる？！

資産の取り崩しをしていない理由

(単位：人、%)

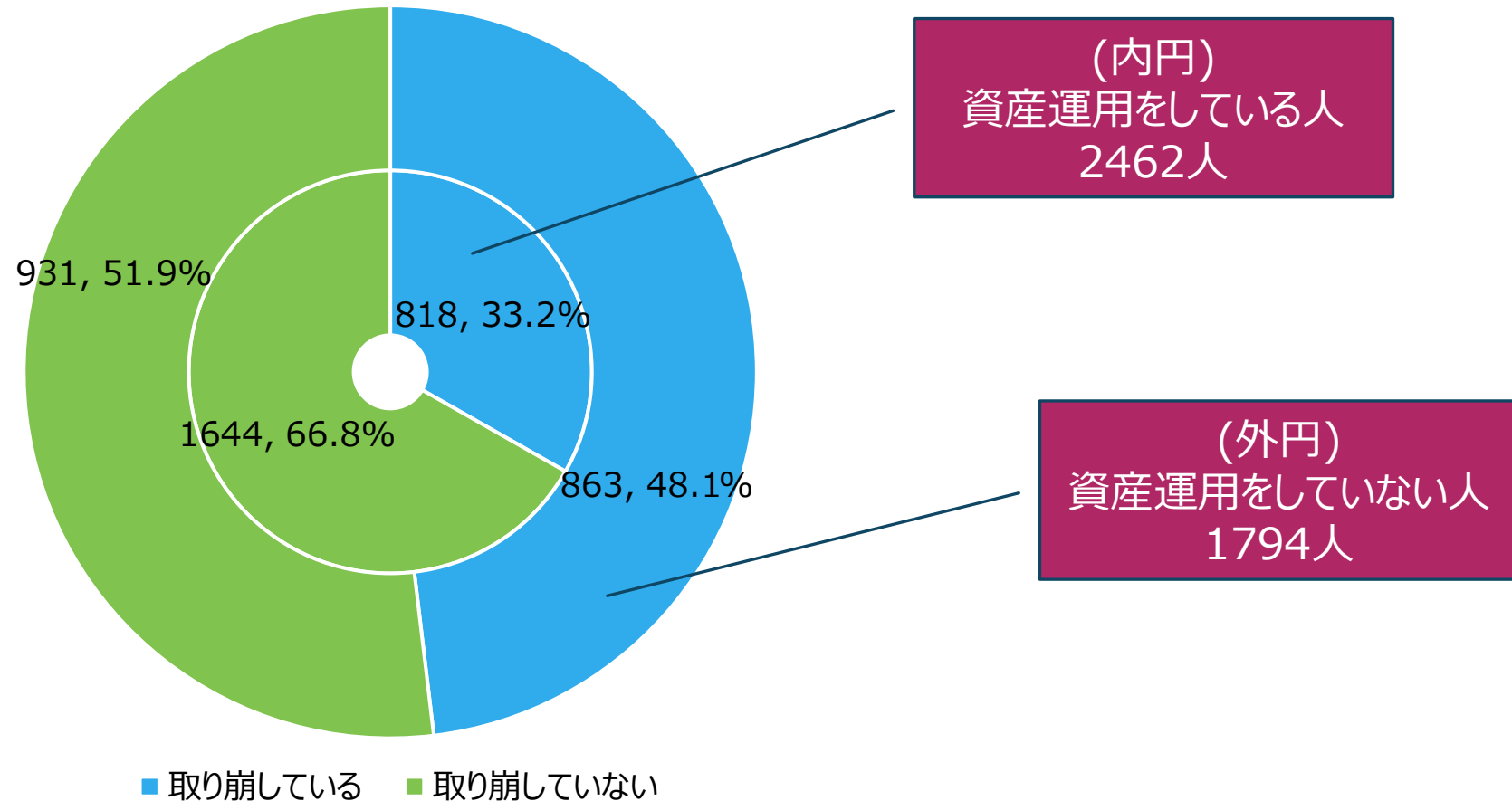


- 資産を取り崩さなくても生活できるので取り崩しを考えていない
- もう少し資産を積み上げてから取り崩しを考えたい
- 今のところ取り崩していないが、今後取り崩すつもり
- 資産が減るのが心配だからできるだけ取り崩さないようにしたい
- 資産を取り崩すかどうか、その時になってみないとわからない
- 資産の取り崩しを考えたことがなかった

(注) 金融資産を保有しているもののまだ取り崩していないと回答した2575人が対象 (出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

運用している人は取り崩さず

資産運用と資産の取り崩しの関係 (単位：人、%)

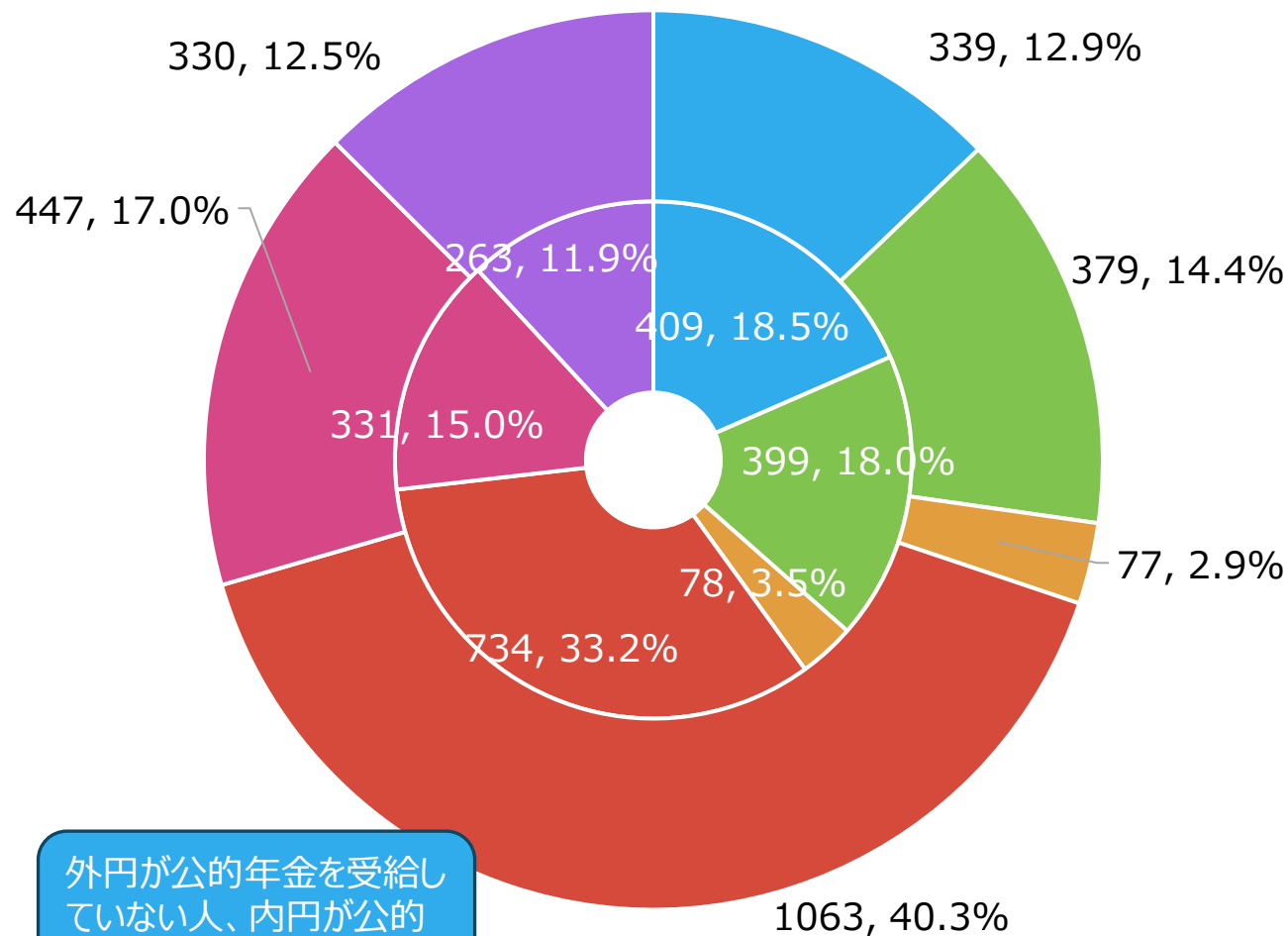


(注)金融資産を保有していると回答している4256人を対象に資産運用をしているか否かで資産の取り崩し状況を見ている (出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

年金受給までの繋ぎと考えず

年金受給と資産の取り崩し

(単位：人、%)



- 預金と有価証券を保有しているが、預金から生活費に充てている
- 有価証券を保有していないので、預金から取り崩している
- 預金と有価証券を保有しているが有価証券から生活費に充てている
- 預金と有価証券を保有しているが、どちらもまだ取り崩していない
- 有価証券は保有していないが保有している預金は取り崩していない
- 保有資産は不動産だけなので取り崩しはしていない

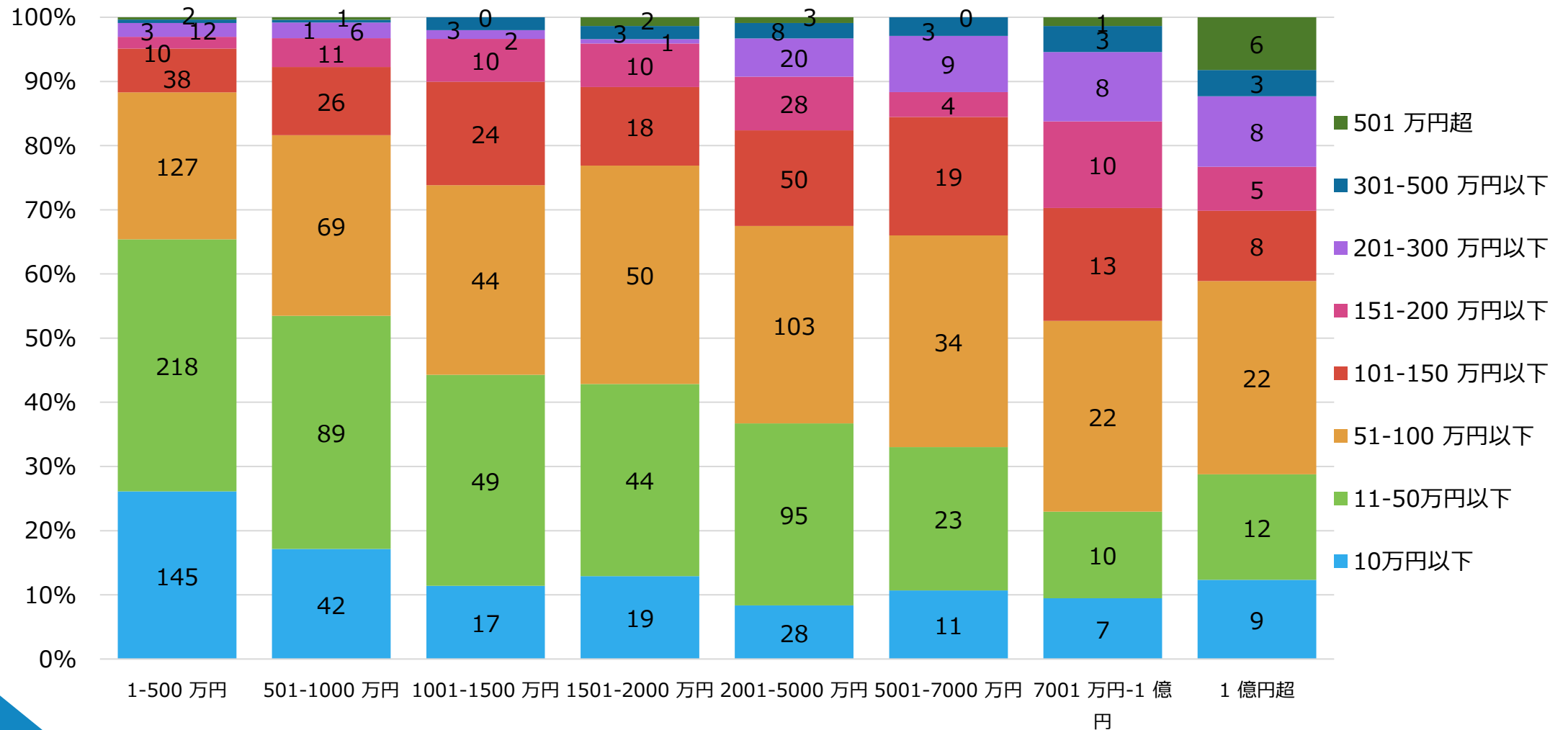
外円が公的年金を受給していない人、内円が公的年金を受給している人

(注) 不動産を含め資産を保有している人4849人のうち、公的年金を受給している人は2214人、受給していない人は2635人。
(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

富裕層でも年100万円以下が過半

世帯資産額帯別の引き出し状況

(単位：人、%)

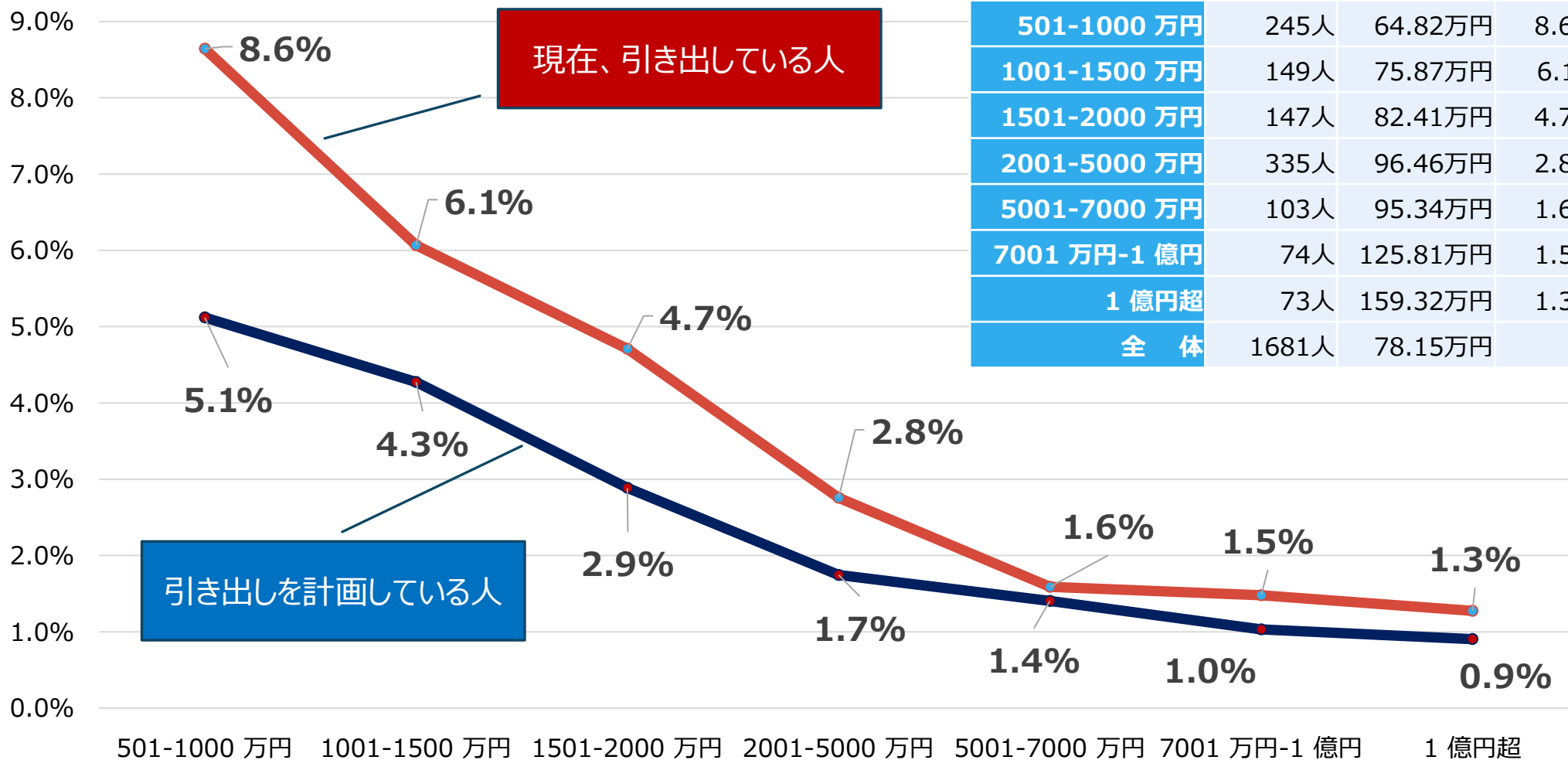


(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

資産3000万円で4%弱の引出率

世帯資産額帯別の引出率

(単位：人、%)

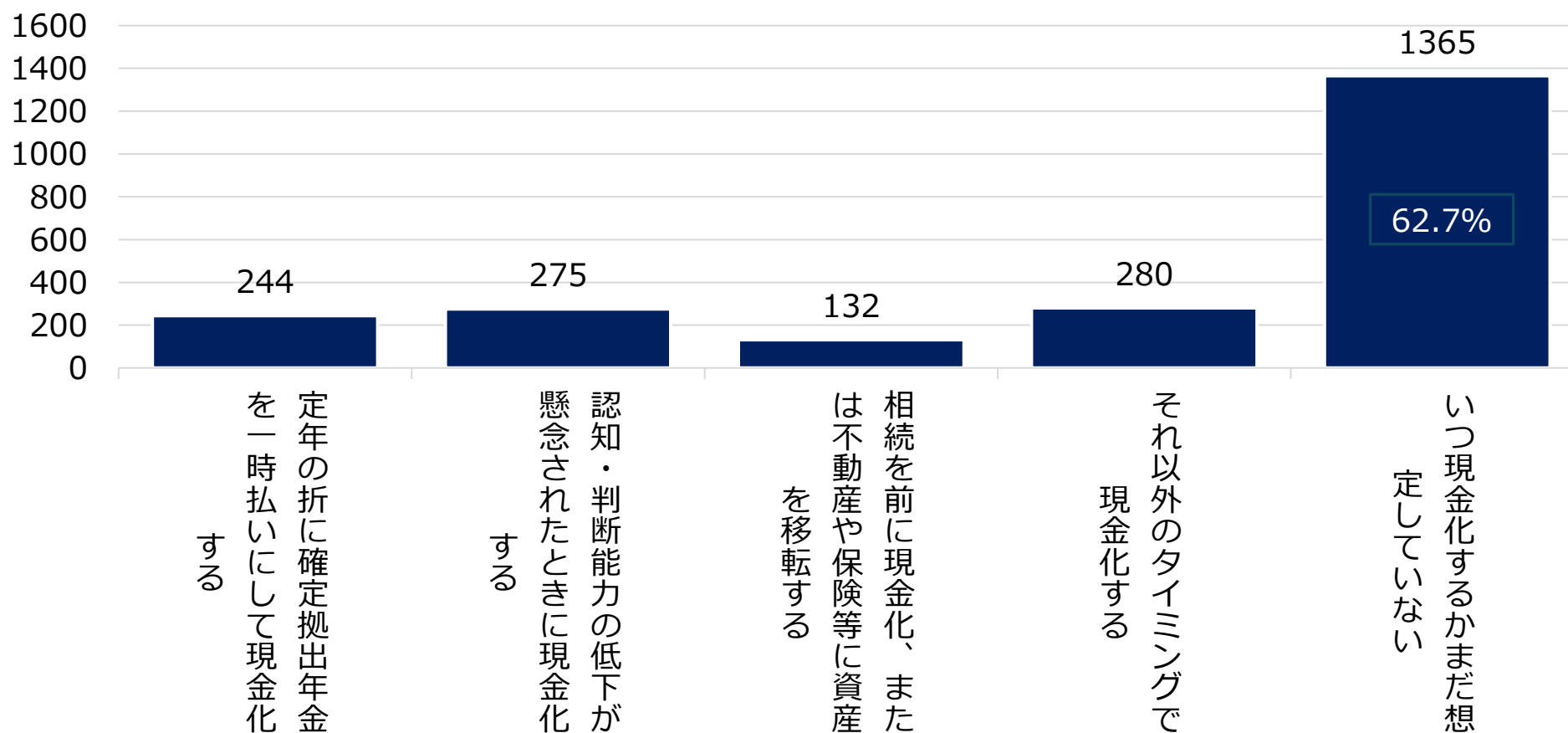


(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

3分の2が現金化時期未定

有価証券をまとめて現金化するタイミングは？

(単位：人)



(注) 有価証券を保有する2176人が対象。複数回答可。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2025年

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所